

地域総合学部政策デザイン学科 課程表

2023 年度以降入学生適用

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開 講 学 年												備 考				
			1 年			2 年			3 年			4 年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	○印—必修科目	○印—選択必修科目			
教養教育科目	T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●	2											○	} 2 単位選択必修	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												○
			キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	半期											2				} 2 単位選択必修
			キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	半期											2				
			キリスト教学 C (キリスト教と文化)	半期											2				
		キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	半期											2					
		共生社会と倫理	半期				○	○	2								} 2 単位選択必修		
		科学技術社会と倫理	半期				○	○	2										
		よき社会生活のために A (法律)	半期	○	○	2											} 2 単位選択必修		
		よき社会生活のために B (福祉)	半期	○	○	2													
	よき社会生活のために C (健康)	半期	○	○	2														
	知的基礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2											} 2 単位選択必修		
		クリティカル・シンキング	半期	○	○	2													
		情報リテラシー	半期	○	○	2										○			
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2										} 2 単位選択必修			
		科学的思考の基礎	半期	○	○	2													
	課題探究	キャリア形成の探究	半期	○	○	2										} 6 単位選択必修			
		東北学院史の探究	半期							○	○	2							
		データ活用による探究	半期				○	○	2										
		地域ボランティア活動の探究	半期	○	○	2													
地域課題の探究		半期				○	○	2											
課題探究演習	半期		●	2															
人文系	哲学	半期	○	○	2										} 4 単位選択必修				
	芸術論	半期	○	○	2														
	文化の歴史	半期	○	○	2														
	音楽	半期	○	○	2														
	倫理学	半期	○	○	2														
	文学	半期	○	○	2														
	歴史学	半期	○	○	2														
	文化人類学	半期	○	○	2														
言語論	半期	○	○	2															
社会系	心理学	半期	○	○	2										} 4 単位選択必修				
	社会学	半期	○	○	2														
	経営学	半期	○	○	2														
	法学	半期	○	○	2														
	日本国憲法	半期	○	○	2									} 4 単位選択必修					
	現代の政治	半期	○	○	2														
	地理学	半期	○	○	2														
	ジェンダー論	半期	○	○	2														
	東北地域論	半期	○	○	2														
	自然系	数理の科学	半期	○	○	2										} 4 単位選択必修			
記号論理学		半期	○	○	2														
生命の科学		半期	○	○	2														
環境の科学		半期	○	○	2														
自然の科学		半期	○	○	2														
先端科学と技術		半期	○	○	2														
AI 社会の基礎	半期	○	○	2															

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
外国語科目	第1類	英語ⅠA	●		1											○	週2回開講 ※Bの選択にあたってはAと同一外国語を履修すること	
		英語ⅠB		●	1											○		
		英語ⅡA				●		1								○		
		英語ⅡB					●	1								○		
	第2類	ドイツ語ⅠA	●		2													
		フランス語ⅠA	●		2													
		中国語ⅠA	●		2													
		韓国・朝鮮語ⅠA	●		2													
		ドイツ語ⅠB		●	2													
		フランス語ⅠB		●	2													
		中国語ⅠB		●	2													
		韓国・朝鮮語ⅠB		●	2													
		ドイツ語ⅡA				●		1										
		フランス語ⅡA				●		1										
		中国語ⅡA				●		1										
		韓国・朝鮮語ⅡA				●		1										
		ドイツ語コミュニケーションA				●		1										
		フランス語コミュニケーションA				●		1										
		中国語コミュニケーションA				●		1										
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA				●		1										
		ドイツ語ⅡB					●	1										
		フランス語ⅡB					●	1										
		中国語ⅡB					●	1										
		韓国・朝鮮語ⅡB					●	1										
		ドイツ語コミュニケーションB					●	1										
		フランス語コミュニケーションB					●	1										
		中国語コミュニケーションB					●	1										
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB					●	1										
	ドイツ語ⅢA							●		1								
	フランス語ⅢA							●		1								
	中国語ⅢA							●		1								
韓国・朝鮮語ⅢA							●		1									
ドイツ語ⅢB								●	1									
フランス語ⅢB								●	1									
中国語ⅢB								●	1									
韓国・朝鮮語ⅢB								●	1									
第3類	ベーシック英語	●		1												「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業単位に含まない。 週2回開講		
	英語コミュニケーション	○	○	2														
	英語ⅢA						●		1									
	英語ⅢB							●	1									
保健体育科目	スポーツ実技A		○	○	1													
	スポーツ実技B		○	○	1													
	体育講義		○	○	2													
留学科目	海外研究A	通年						4								4単位まで卒業単位に算入		
	海外研究B	半期			2													
	海外研究C	半期			1													
外国人及び 帰国生科目	日本語ⅠA	半期	●		1													
	日本語ⅠB	半期		●	1													
	日本語ⅡA	半期				●		1										
	日本語ⅡB	半期					●	1										

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
専門 基盤 科目	SDGs 概論	半期	●		2											◎
	経済学Ⅰ	半期	●		2											
	経済学Ⅱ	半期		●	2											
	公共経営論	半期		●	2											
	政治経済学Ⅰ	半期				●		2								
	政治経済学Ⅱ	半期					●	2								
	政策形成論	半期				●		2								
	政策評価論	半期					●	2								
	福祉国家論	半期				●		2								
	公共哲学Ⅰ	半期				●		2								
	公共哲学Ⅱ	半期					●	2								
	企業倫理Ⅰ	半期				●		2								
	企業倫理Ⅱ	半期					●	2								
	地域社会論	半期				●		2								
	共同体と市民社会	半期				●		2								
専門 科目	公共 行政	社会保障論	半期	●		2										
		財政入門	半期		●	2										
		政治学入門	半期	●		2										
		社会保険論	半期				●	2								
		地方財政論	半期						●	2						
		格差社会論	半期						●	2						
		社会福祉原論	半期						●	2						
		労働政策論	半期							●	2					
		環境政策論	半期							●	2					
		公的扶助論	半期							●	2					
		公共政策分析	半期							●	2					
		福祉政策と地域	半期								●	2				
		地方自治論	半期								●	2				
		行政学	半期								●	2				
		専門 科目	領域 専門 科目	地域産業論	半期	●		2								
金融入門	半期				●	2										
グローバル時代の労働問題入門	半期						●		2							
地域経済データ分析	半期						●		2							
地域企業経営論	半期							●	2							
加齢経済論Ⅰ	半期						●		2							
国際貿易論	半期						●		2							
加齢経済論Ⅱ	半期									●	2					
地域金融論	半期									●	2					
地域観光論	半期									●	2					
社会と開発	半期										●	2				
労働経済論	半期									●	2					
日本経済論	半期									●	2					
日本産業論	半期										●	2				
地域政策論	半期										●	2				
東北経済論	半期							●	2							
東北開発論	半期								●	2						
専門 科目	市民 社会	現代社会問題論	半期	●		2										
		日常生活とジェンダー	半期		●	2										
		災害社会論	半期				●		2							
		多文化共生論	半期					●	2							
		ジェンダーと政策	半期						●		2					
		人権政策論	半期							●	2					
		災害ボランティア・NPO論	半期							●	2					
		シティズンシップ論	半期						●		2					
		地域防災・減災論	半期						●		2					
		復興まちづくり論	半期							●	2					
		障害学	半期							●	2					
		災害とマイノリティ	半期								●	2				

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
専門科目	演習・実習・特殊科目	基礎演習	●		2											◎	
		演習Ⅰ							○	○	4						
		演習Ⅱ										○	○	4			
		政策デザイン実習Ⅰ				●		2									
		政策デザイン実習Ⅱ					●	2									
		地域プロジェクト実習							○	○	4						
		特殊講義				●		2									
		卒業研究											●	2		◎	
	専門関連科目	憲法Ⅰ					●	2									
		憲法Ⅱ					●	2									
		民法総論				●		2									
		行政法総論							●		2						
		労働法							●		2						
		商法							●		2						
		家族法							●		2						
社会保障法												●	2				
教育職員免許状の 教科に関する科目	日本史概論			●	2												
	外国史概論		●		2												
	地理学概論		●		2												
	地誌学概論		●		2												
	民俗学Ⅰ		●		2												
	民俗学Ⅱ			●	2												
教職等 に関する 科目	教育基礎論		●		2											◇	
	現代教職論		○	○	2											◇	
	教育の制度と経営			●	2											◇	
	教育心理学					○	○	2								◇	
	特別支援教育論							○	○	2						◇	
	教育課程論					●		2								◇	
	道德教育の理論と方法					○	○	2								※	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法							○	○	2						◇	
	教育の方法と技術					○	○	2								◇	
	ICT活用の理論と方法							○	○	2						◇	
	生徒指導・進路指導の理論と方法					○	○	2								◇	
	教育相談の理論と方法					○	○	2								◇	
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)						●	2								※	
	社会・公民科教育法(概論・理論)						●	2								※	
	社会・地理歴史科教育法(実践)								●	2						※	
	社会・公民科教育法(実践)								●	2						※	
	社会・地理歴史科教育法(応用)								●	2						※	
	社会・公民科教育法(応用)								●	2						※	
教育実習Ⅰ										○	○	3			◇		
教育実習Ⅱ										○	○	2			※		
教職実践演習(中・高)											●	2			◇		
介護体験実習								○	○	2					※		

◇印は、教育職員免許状取得に必修。
 ※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なる。(詳細は大学要覧「教職課程」を参照のこと)
 ※教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧(教職課程)を参照のこと。

政策デザイン学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

科目区分			単位		
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	22	34
		知的基礎	6		
		課題探究	6		
	共通教養科目	人文系	4	12	
		社会系	4		
自然系		4			
外国語科目	第1類	4 (必修)	4		
専門科目	専門基盤科目		18 (必修2単位含む)	52	
	領域専門科目	公共行政	10		
		経済産業	10		
		市民社会	10		
演習・実習・特殊科目		4 (必修)			
外国語科目 第2類・第3類 (「ベーシック英語」を除く) 保健体育科目 留学科目 (4単位まで) 専門科目 他学部・他学科開講科目 協定を締結している他大学開講科目			34		
合 計			124		

〈カリキュラムマップの見方〉

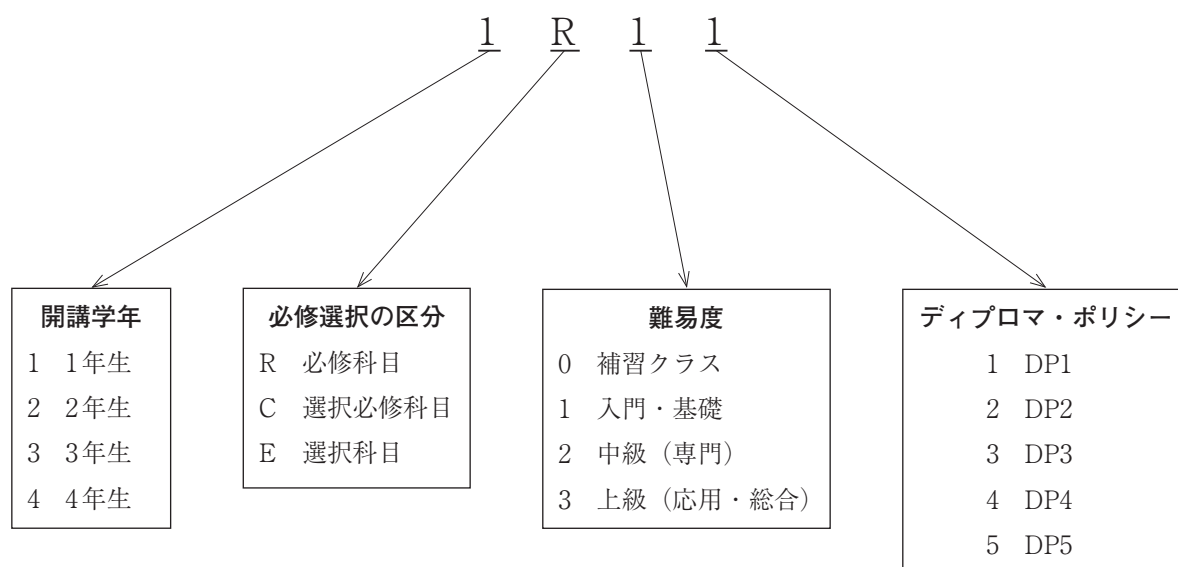
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目について◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 地域総合学部 政策デザイン学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えがで ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる (汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	○				
1R11	キリスト教の歴史と思想	○				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	○				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	○				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	○				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	○				
2C11	共生社会と倫理	○			○	
2C11	科学技術社会と倫理	○			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	○			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	○			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	○			○	
1C12	リーディング&ライティング		○			
1C12	クリティカル・シンキング		○			
1R12	情報リテラシー		○		○	
1C12	統計的思考の基礎		○		○	
1C12	科学的思考の基礎		○		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		○		
3C13	東北学院史の探究	○		○		
2C23	データ活用による探究		○	○		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		○		
2C23	地域課題の探究		○	○	○	
1C23	課題探究演習		○	○		
1E14	哲学				○	
1E14	芸術論	○			○	
1E14	文化の歴史				○	
1E14	音楽	○			○	
1E14	倫理学				○	
1E14	文学				○	
1E14	歴史学	○			○	
1E14	文化人類学	○			○	
1E14	言語論				○	
1E14	心理学				○	
1E14	社会学				○	
1E14	経営学				○	
1E14	法学				○	
1E14	日本国憲法	○			○	
1E14	現代の政治	○			○	
1E14	地理学				○	
1E14	ジェンダー論				○	
1E14	東北地域論				○	
1E14	数理の科学				○	
1E14	記号論理学		○		○	
1E14	生命の科学				○	
1E14	環境の科学				○	
1E14	自然の科学				○	
1E14	先端科学と技術				○	
1E14	AI 社会の基礎		○		○	
1R12	英語 I A		○		○	
1R12	英語 I B		○		○	
2R22	英語 II A		○		○	
2R22	英語 II B		○		○	
1C12	ドイツ語 I A		○		○	
1C12	フランス語 I A		○		○	
1C12	中国語 I A		○		○	
1C12	韓国・朝鮮語 I A		○		○	
1C12	ドイツ語 I B		○		○	
1C12	フランス語 I B		○		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	中国語Ⅰ B		○		○	
1C12	韓国・朝鮮語Ⅰ B		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ A		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ A		○		○	
2E22	中国語Ⅱ A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		○		○	
2E22	中国語Ⅱ B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		○		○	
3E32	中国語Ⅲ A		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		○		○	
3E32	中国語Ⅲ B		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語Ⅲ A		○		○	
3E32	英語Ⅲ B		○		○	
1E11	スポーツ実技 A	○				
1E11	スポーツ実技 B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究 A		○		○	
1E22	海外研究 B		○		○	
1E12	海外研究 C		○		○	
1E12	日本語Ⅰ A		○			
1E12	日本語Ⅰ B		○			
2E12	日本語Ⅱ A		○			
2E12	日本語Ⅱ B		○			
1R14	SDGs 概論				○	
1E14	経済学Ⅰ		○		○	
1E14	経済学Ⅱ		○		○	
1E14	公共経営論				○	
2E15	政治経済学Ⅰ					○
2E15	政治経済学Ⅱ					○
2E14	政策形成論				○	
2E13	政策評価論			○		
2E14	福祉国家論				○	
2E14	公共哲学Ⅰ				○	
2E14	公共哲学Ⅱ				○	
2E15	企業倫理Ⅰ	○				○
2E15	企業倫理Ⅱ	○				○
2E14	地域社会論			○	○	
2E14	共同体と市民社会			○	○	
1E14	社会保障論			○	○	
1E15	財政入門				○	○

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1E14	政治学入門				◎	
2E14	社会保険論			○	◎	
3E25	地方財政論				○	◎
3E24	格差社会論			○	◎	
3E23	社会福祉原論			◎		○
3E24	労働政策論				◎	
3E24	環境政策論				◎	
3E23	公的扶助論			◎		○
3E23	公共政策分析			◎		○
3E24	福祉政策と地域				◎	
3E25	地方自治論					◎
3E25	行政学					◎
1E14	地域産業論				◎	
1E15	金融入門				○	◎
2E14	グローバル時代の労働問題入門				◎	
2E13	地域経済データ分析			◎	○	
2E14	地域企業経営論				◎	
2E15	加齢経済論Ⅰ					◎
2E14	国際貿易論				◎	○
3E25	加齢経済論Ⅱ					◎
3E25	地域金融論				○	◎
3E24	地域観光論				◎	
3E24	社会と開発				◎	
3E24	労働経済論				◎	
3E24	日本経済論				◎	○
3E24	日本産業論				◎	○
3E25	地域政策論		○			◎
3E25	東北経済論				○	◎
3E25	東北開発論				○	◎
1E14	現代社会問題論				◎	
1E14	日常生活とジェンダー				◎	
2E14	災害社会論			○	◎	
2E14	多文化共生論			○	◎	
3E25	ジェンダーと政策			○		◎
3E24	人権政策論				◎	○
3E23	災害ボランティア・NPO論			◎	○	
3E24	シティズンシップ論			○	◎	
3E24	地域防災・減災論				◎	
3E24	復興まちづくり論				◎	
3E24	障害学			○	◎	
3E24	災害とマイノリティ			○	◎	
1R12	基礎演習		◎			
3E25	演習Ⅰ			○		◎
4E25	演習Ⅱ			○		◎
2E13	政策デザイン実習Ⅰ			◎		○
2E13	政策デザイン実習Ⅱ			◎		○
3E23	地域プロジェクト実習			◎		○
2E14	特殊講義				◎	
4R25	卒業研究			○		◎
2E14	憲法Ⅰ				◎	○
2E14	憲法Ⅱ				◎	○
2E14	民法総論				◎	
3E24	行政法総論				◎	
3E24	労働法				◎	
3E24	商法				◎	
3E24	家族法				◎	
3E24	社会保障法				◎	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1E14	日本史概論				○	
1E14	外国史概論				○	
1E14	地理学概論				○	
1E14	地誌学概論				○	
1E14	民俗学Ⅰ				○	
1E14	民俗学Ⅱ				○	
1E14	教育基礎論				○	
1E14	現代教職論				○	
1E14	教育の制度と経営				○	
2E14	教育心理学				○	
3E24	特別支援教育論				○	
2E14	教育課程論				○	
2E14	道徳教育の理論と方法				○	
3E24	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				○	
2E14	教育の方法と技術				○	
3E24	ICT活用の理論と方法				○	
2E14	生徒指導・進路指導の理論と方法				○	
2E14	教育相談の理論と方法				○	
2E14	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）					○
2E14	社会・公民科教育法（概論・理論）					○
3E23	社会・地理歴史科教育法（実践）					○
3E23	社会・公民科教育法（実践）					○
3E24	社会・地理歴史科教育法（応用）					○
3E24	社会・公民科教育法（応用）					○
4E23	教育実習Ⅰ			○		
4E23	教育実習Ⅱ			○		
4E23	教職実践演習（中・高）			○		
3E23	介護体験実習				○	

(2) 地域総合学部 政策デザイン学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果			
		1	2	3	4
		地域社会の果たす役割や位置づけを、国内のみならず地球規模の社会経済システムとの関係において、広い視点から理解することができる。(経済システム理解)	地域社会の人びとが抱える多様な問題に対する理解を深め、それらを公正で包摂的な社会の実現に向けた政策的課題として把握することができる。(政策課題の把握)	地域の課題を解決するために必要な政策を、政策遂行の担い手となる公共行政、経済産業、市民社会領域それぞれの視点から多角的に考察することができる。(三領域からの考察)	学修成果を総合的に活用しながら、自ら率先して課題の把握・政策提案の主体となり、また他者と協働してその遂行にあたることのできる。(主体性と協働性)
1R14	SDGs 概論	◎	○		
1E14	経済学 I	◎			
1E14	経済学 II	◎			
1E14	公共経営論	◎			
2E15	政治経済学 I	◎			
2E15	政治経済学 II	◎			
2E14	政策形成論			◎	
2E13	政策評価論		◎		
2E14	福祉国家論	◎			
2E14	公共哲学 I		◎		
2E14	公共哲学 II		◎		
2E15	企業倫理 I		◎		
2E15	企業倫理 II		◎		
2E14	地域社会論		◎		
2E14	共同体と市民社会		◎		
1E14	社会保障論		○	◎	
1E15	財政入門	◎		○	
1E14	政治学入門	◎			
2E14	社会保険論		○	◎	
3E25	地方財政論		◎	○	
3E24	格差社会論		◎	○	
3E23	社会福祉原論		◎	○	
3E24	労働政策論	○	◎		
3E24	環境政策論	◎	○		
3E23	公的扶助論		◎		
3E23	公共政策分析		◎		
3E24	福祉政策と地域		◎		
3E25	地方自治論		◎		
3E25	行政学		◎		
1E14	地域産業論	◎			
1E15	金融入門		◎		
2E14	グローバル時代の労働問題入門	◎			
2E13	地域経済データ分析				◎
2E14	地域企業経営論			◎	
2E15	加齢経済論 I	◎	○		
2E14	国際貿易論	◎			
3E25	加齢経済論 II	◎	○		
3E25	地域金融論			◎	
3E24	地域観光論			◎	
3E24	社会と開発	◎		○	
3E24	労働経済論	◎			
3E24	日本経済論			◎	
3E24	日本産業論			◎	
3E25	地域政策論		◎		
3E25	東北経済論			◎	
3E25	東北開発論			◎	
1E14	現代社会問題論		◎		
1E14	日常生活とジェンダー		◎		
2E14	災害社会論		○	◎	
2E14	多文化共生論	◎	○		
3E25	ジェンダーと政策		◎		
3E24	人権政策論		◎		
3E23	災害ボランティア・NPO 論		◎		○
3E24	シティズンシップ論	◎	○		
3E24	地域防災・減災論		◎	○	
3E24	復興まちづくり論		◎	○	

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果			
		1	2	3	4
		地域社会の果たす役割や位置づけを、国内のみならず地球規模の社会経済システムとの関係において、広い視点から理解することができる。(経済システム理解)	地域社会の人びとが抱える多様な問題に対する理解を深め、それらを公正で包摂的な社会の実現に向けた政策的課題として把握することができる。(政策課題の把握)	地域の課題を解決するために必要な政策を、政策遂行の担い手となる公共行政、経済産業、市民社会領域それぞれの視点から多角的に考察することができる。(三領域からの考察)	学修成果を総合的に活用しながら、自ら率先して課題の把握・政策提案の主体となり、また他者と協働してその遂行にあたることのできる。(主体性と協働性)
3E24	障害学		◎		
3E24	災害とマイノリティ		◎		
1R12	基礎演習			◎	
3E25	演習Ⅰ			◎	○
4E25	演習Ⅱ			○	◎
2E13	政策デザイン実習Ⅰ		○		◎
2E13	政策デザイン実習Ⅱ		○		◎
3E23	地域プロジェクト実習				◎
2E14	特殊講義	◎	○		
4R25	卒業研究			○	◎
2E14	憲法Ⅰ		◎		
2E14	憲法Ⅱ		◎		
2E14	民法総論		◎		
3E24	行政法総論		◎		
3E24	労働法		◎		
3E24	商法		◎		
3E24	家族法		◎		
3E24	社会保障法		◎		